

～核兵器のない、平和で安心して暮らせる社会の実現のために～

栃木市の非核平和事業



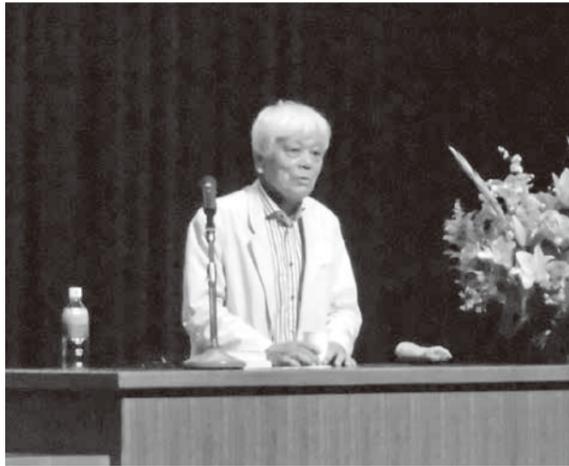
市では、栃木市非核平和都市宣言の趣旨を踏まえ、戦争の悲惨さや核兵器のおそろしさを伝えるとともに、命の貴さや平和について考える機会を設ける事業を、毎年実施しています。

とちぎ平和展

6月22日(木)～8月1日(火)、市内の6か所で、原爆写真のパネルや昨年度の広島平和記念式典中学生派遣活動記録などを展示しました。とちぎ平和展に設置した折鶴コーナーで折られた鶴574羽は、来年、広島の子の像に奉納する予定です。

とちぎ平和講演会

太平洋戦争末期、沖縄県警察部長として沖縄県民の疎開救済に命懸けで奔走した、宇都宮市出身の荒井退造氏の足跡を通して平和や命の尊さについて考えるため、栃木文化会館小ホールにおいて、とちぎ平和講演会「沖縄に殉じた『疎開の恩人』荒井退造」を開催しました。当日は、約160人の皆さんが来場し、講師「NPO法人菜の花街道」荒井退造顕彰事業実行委員会代表 荒井俊典さんの話に耳を傾けました。



荒井俊典さん

戦争体験を聞く会

戦争体験を風化させることなく後世に伝えていくため、藤岡公民館において、太平洋戦争当時小学生だった堀江宣男さんと、女学生だった湯澤トヨさんに、戦時中の教育や、宇都宮空襲での体験を語っていただきました。
三轟山への時限爆弾の投下や栃木市内の上空をB29の編隊が飛んで行った様子、また宇都宮空襲で避難した時の話など、日常

生活の中に入り込んでくる戦争の恐ろしさを生む声でお話いただきました。参加者からは、「戦争のない社会が続くよう考えて行かなければならない。」「平和のありがたさ、危うさについて考えさせられた。」等の感想が寄せられました。



堀江宣男さん



湯澤トヨさん

広島平和記念式典への中学生派遣

「広島平和記念式典中学生派遣団」として市立中学校(全14校)から2年生男女1人ずつ、計28人を派遣しました。派遣された中学生は原子爆弾の恐ろしさを現地を感じ、戦争の悲惨さや平和の尊さについて学びました。

平和記念式典参列(8月6日)

8時に平和記念式典が始まり、原爆死没者名簿奉納、代表者による献花の後、原子爆弾が投下された8時15分に、鐘の音とともに黙とうが行われ、平和への祈りをささげました。

【派遣団員の活動報告からの抜粋】

「式典には多くの人が参加していて、参加している人の多くは核兵器の廃絶を望んでいるのだと思うと、一刻もはや、全世界が平和になってほしいと思います。」「広島市内の子ども代表による平和への誓いの中で「感情までも奪われた人がいた。」というところが心に残りました。僕らが生きていく今の時代では、簡単に笑ったり怒ったり、泣いたりすることができません。でも、こんな当たり前のことが当たり前ではなくなる戦争は、とても恐ろしいものだと思いました。」

「一人一人の命の重みを知り、世界中の人々に届く言葉で戦争の悲惨さを伝えていく必要があると思います。戦争をしても何も生まれないし、何も変わりません。このことを心にきざみ、私たちの貴重な体験を、少しずつ伝えていきたいと思っています。」

被爆体験講話学習(8月7日)

被爆された方の講話を通して、原爆被害の実態を学びました。(講師：山本定男さん)



被爆体験を熱心に聞く派遣団の皆さん

【派遣団員の活動報告からの抜粋】

「原子爆弾は自分が想像していた以上に悲惨なものでした。何の罪もない人達をたった一発落としたことで多くの人が亡くなってしまい、放射線による後遺症でたくさんの方が苦しんだことを知りました。原子爆弾による被害は決して小さくないとは思っていたものの、被害の様子を聞いてみると



胸が痛くなりました。」

「最も心に残ったのは、終戦後も被爆した方は苦しみ続けているということ。その時の苦しみだけでなく、白血病などの原爆症や、差別をされてしまった方もいたそうです。特に私は、差別や偏見が今でも少し残っていることに驚きました。結婚するときに銭湯に入るとき、被爆者だからという理由で拒まれてしまうなんて、決まっていたはずなのに驚きました。この出来事が風化されてしまったら、また同じことが起きてしまうかもしれません。だからこそ、このような悲惨な出来事を教えてもらった私達が、それを発信していかねばなりません。」

千羽鶴の作製にご協力いただきありがとうございました

今年、各中学校で心を込めて作製した千羽鶴、昨年の原爆パネル展等で市民の皆さんに作っていただいた折り鶴は、大切に原爆の子の像に奉納されました。



8月25日、報告会を開催しました

派遣団員の中学生が、今回の派遣で学んだことや感じたことを市民の皆さんの前で発表しました。今後は各校の学校祭などで発表し、原爆の恐ろしさや平和の尊さを全校生徒に伝えます。

問合せ 総務課 ☎(21)2343